



—— 当院で ——

肺炎球菌予防接種が 受けられます

※予約制 お問い合わせください 045-949-5178



肺炎球菌とは

肺炎球菌は細菌の中の一つです。この肺炎球菌は、体力が落ちている時や高齢になって免疫力が弱くなってくると病気を引き起こします。肺炎球菌が引き起こす主な病気としては、肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などがあります。

肺炎球菌ワクチン

ニューモバックス

感染する機会の多い23種類の型に対して免疫をつけることができます。これらの23種類の型で、すべての肺炎球菌による感染症の約8割を占めています。1回の接種で23の型ほとんどに対し、有効レベル以上の免疫ができ、その免疫は5年程度続きます。予防のために5年毎に継続的に接種することが推奨されています。

プレベナー13

感染する機会の多い肺炎球菌の13種類の型に対して免疫をつけることができます。これらの13種類の型で、すべての肺炎球菌による感染症の約6割～7割を占めています。効果の持続性は長く、1回のみ接種です。

費用

種類	有効期間	対象者	料金
ニューモバックス (23価)	5年間有効	横浜市公費	3,000円
		65歳以上	7,500円
プレベナー13 (13価)	1回接種のみ	中学生以上	9,500円

※ 23価接種後1年以上あけば13価は接種可能です。

また13価接種後、6か月～4年以内に23価接種可能です。

接種に関する注意点

肺炎球菌ワクチン接種後の副反応（副作用）として、注射部位の腫れや、痛み、ときに軽い熱がみられることがありますが、日常生活に差し支えるほどのものではありません。1～2日で消失します。多くのデータにより、安全に接種できることが確認されています